



# 岐阜県感染症発生動向調査週報

Gifu Infectious Diseases Weekly Report

令和3年5月21日 岐阜県感染症情報センター（岐阜県保健環境研究所）

2021年第19週  
(5/10~5/16)

<情報編>

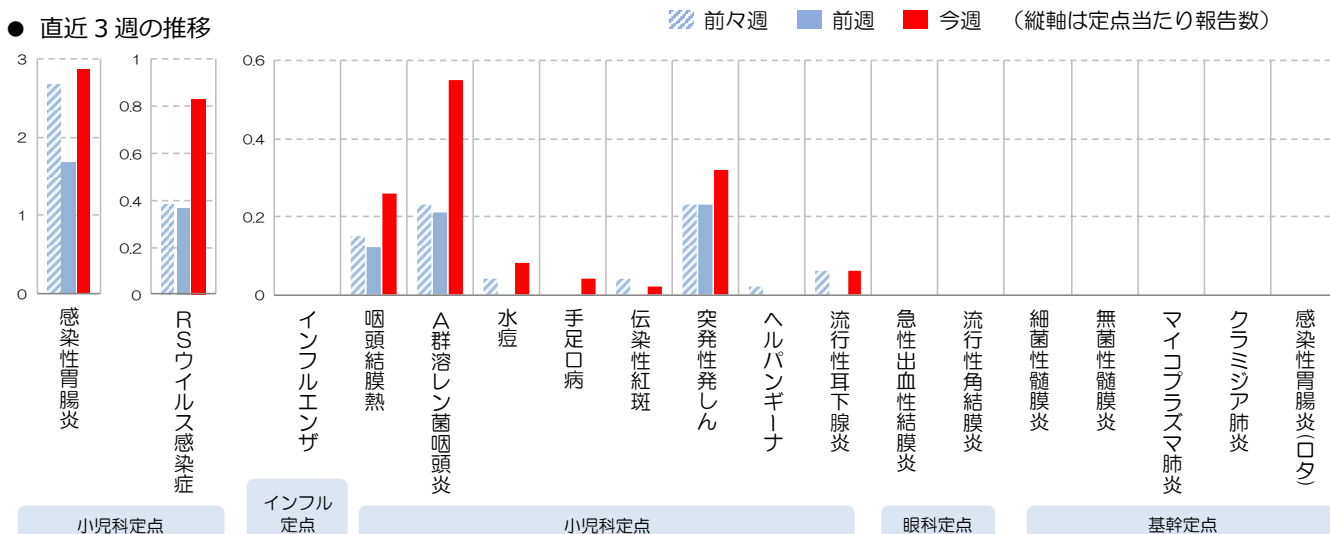
## 今週の主な動向

- 新型コロナウイルス感染症について、県内での発生報告数が急増しています。県民の皆様にはなおご不便をおかけすることになりますが、感染リスクを避けた慎重な行動をお願いいたします。
- RSウイルス感染症について、岐阜県内での発生報告数に増加傾向がみられます。重症化するリスクの高い小児及び乳児に接する際は、飛沫による感染への対策を心掛けるなど、ご注意をお願いします。
- 県内で感染性胃腸炎の発生報告が続いています。予防には、外出後や食事の前、調理の前後など、こまめな石鹸による手洗いが有効です。

## 定点把握対象疾患

<インフルエンザ定点：87か所、小児科定点：53か所、眼科定点：11か所、基幹定点：5か所>

### ● 直近3週の推移



## 全数把握対象疾患

### ● 新規報告分

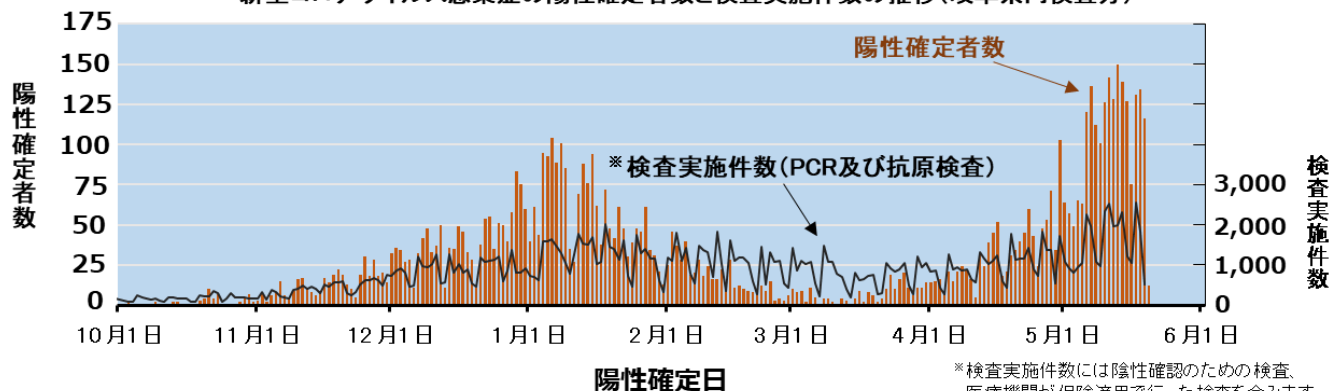
- 1類感染症：なし
- 2類感染症：結核 4例
- 3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 1例
- 4類感染症：レジオネラ症 1例

5類感染症：侵襲性肺炎球菌感染症 3例、梅毒 4例  
 新型インフルエンザ等感染症：新型コロナウイルス感染症 887例 (5/10~5/16(陽性確定日による集計))

### トピック：新型コロナウイルス感染症

新型コロナウイルス感染症(岐阜県内検査分)について、陽性確定者の総数は7889人(県外居住者107人含む)となりました(令和3年5月20日17:00現在のデータによる)。そのうち近日分のデータをグラフ化すると下記ようになります。

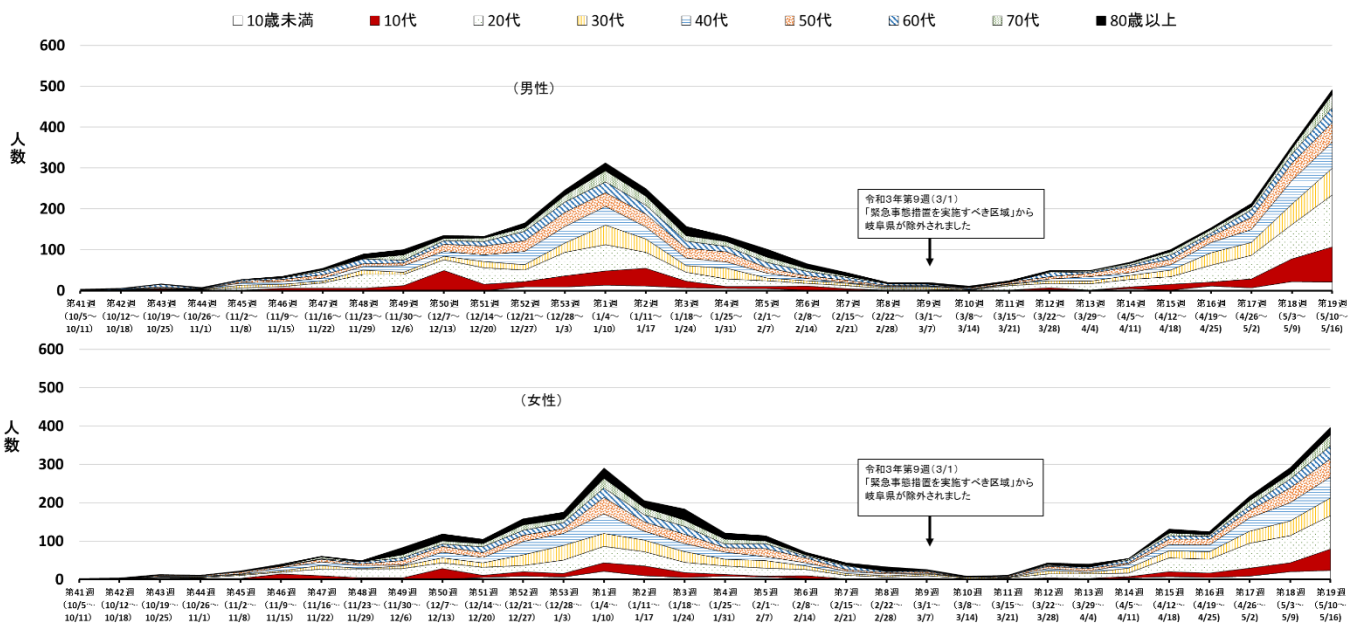
新型コロナウイルス感染症の陽性確定者数と検査実施件数の推移(岐阜県内検査分)



<情報編>

令和3年第19週の報告数は887人であり、今週も過去最多人数となりました。年代別でみると30代以下が全体の約58%を占め、最も多い20代は全体の約24%となっています。これまでのデータによると、流行の初期段階では若い世代の割合が比較的多く、その後徐々に重症化リスクの高い高齢者世代の割合が多くなっていくことがわかっています。各年代の重症化率を比較した調査では、30代の重症化率を1倍とした場合、20代では0.3倍ですが、70代で4.7倍、80代以上では7.1倍以上になるとの報告もあります（「(2021年4月時点) 新型コロナウイルス感染症の“いま”についての11の知識」厚生労働省）。感染力が強い変異株の流行が今回の感染拡大の大きな要因と考えられますが、今後少しでも早く報告数を減少に転じるためには、若い世代の方々のご協力が是非とも必要となります。県民の皆様にはなおご不便をおかけすることになりますが、これ以上の感染拡大を防ぐため、密閉・密集・密接（3密）の条件を避けること、マスクを着用すること、手洗いの習慣化を基本とし、感染拡大エリアとの往來の回避や多人数での長時間に及ぶ会食を避け、体調が悪い時には外出を控えるなど、感染対策へのご協力をお願いいたします。

第3波後の岐阜県における陽性確定者発生数の推移(週別・年代別)



(参考) 岐阜県 HP 「新型コロナウイルス感染症【県内の感染動向】」

<https://www.pref.gifu.lg.jp/site/covid19/26547.html>

(参考) 岐阜県 HP 「まん延防止等重点措置区域の指定を受けて」

<https://www.pref.gifu.lg.jp/site/covid19/150950.html>

(参考) 岐阜県 HP 「岐阜県 新型コロナウイルス感染症に関する情報」

<https://www.pref.gifu.lg.jp/site/covid19/>

(参考) 内閣官房 HP 「新型コロナウイルス感染症 まん延防止等重点措置」

<https://corona.go.jp/emergency/>

※令和2年10月29日、厚生労働省は新型コロナウイルス感染症に関する現在の状況と、これまでに得られた科学的知見について、新たに10の知識としてとりまとめました。この中には、新型コロナウイルス感染症対策分科会から10月23日に提言された『感染リスクが高まる「5つの場面」』についても記載されています。また、新型コロナウイルスの変異についての解説も追加されました。

・「(2021年4月時点) 新型コロナウイルス感染症の“いま”についての11の知識」厚生労働省

<https://www.mhlw.go.jp/content/000749530.pdf>

※ 感染予防と感染拡大防止のための対策として、手洗い、咳エチケットを徹底しましょう。発熱や咳などの症状がある場合は外出を控え、また日常においても不要不急の外出は控えましょう。

これまでのデータから、集団感染が起こりやすいのは以下の条件がそろった時との報告がされています。

1. 密閉空間（換気の悪い密閉空間である）
2. 密集場所（多くの人が密集している）
3. 密接場面（互いに手を伸ばしたら届く距離での会話や発声が行われる）

このことから、感染のリスクを低減させるためには、これら3つの密が重なる条件（3密）を避けることが重要です。